

【報道関係各位】

三谷産業株式会社

2018 年 8 月 30 日

三谷産業、ベトナムの貿易大学と産学連携を強化 ～日系企業における人材の採用・育成をテーマに共同研究を開始～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、8 月 30 日にベトナム・ハノイ市の貿易大学で、同大学との協力覚書ならびに同大学日本語学部との共同研究契約書の調印式を執り行いました。

貿易大学と三谷産業は、ベトナムで事業を営む日系企業におけるベトナム人材の採用や育成をテーマとする共同研究を中心に、文化、産業、教育、学術などさまざまな分野で連携し、両国の発展に寄与することを目指しています。

調印式には、貿易大学のブイ・アイン・トゥアン学長、当社からは取締役会長 三谷充、取締役副会長 饗庭達也のほか、在ベトナム日本国大使館より梅田邦夫 駐ベトナム日本国特命全権大使ら、24 名が出席しました。

なお、本共同研究は在ベトナム日本国大使館を中心とする実行委員会より、日越外交関係樹立 45 周年事業に認定されています。

■貿易大学との共同研究について

三谷産業は、1994 年からベトナムで事業を開始し、産学官にネットワークを培ってきました。現在ではベトナムに子会社 8 社、社員数約 4,000 名を有する規模になっています。

貿易大学は、ベトナムでも最上位とされる大学であり、1970 年代から日本語教育に力を入れており、また語学だけでなく日本文化や日本式の経営学についても研究・教育しています。当社を含め多くの日系企業に優秀な人材を多数輩出しています。

一方で、ベトナムの日系企業の中では、文化や雇用慣行の相違に起因する人材の採用・育成についての悩みを持つことも少なくありません。

また、ベトナムの大学側においても、日本語や日本文化を学んだ学生が日系企業に就職した際に、働き方や組織のルールや慣習に適応するためには課題も多く、それらを克服するための教育カリキュラムを模索しているのが現状です。

そこで、三谷産業から貿易大学に委託する形で、「在ベトナム日系企業における採用および新入社員教育の現状と課題」という共同研究を実施する運びとなりました。三谷産業が研究費の支援や日系企業の協力を募り、貿易大学の研究者が 3 年間をかけて実際に統計分析やケーススタディーを行います。

この研究の成果として、日系企業とベトナムの大学の双方が、両国の文化・就労の考え方についての相違点を理解し合い、企業での採用・育成ならびに大学の教育現場において有効に活用されることを期待しています。



調印式の様子

【共同研究概要】

研究テーマ： 在ベトナム日系企業における採用および新人教育の現状と課題

研究対象： 大学を卒業したレベルの人材を採用する在ベトナム日系企業

研究期間： 2018年10月1日～2021年9月30日

【協力覚書/共同研究契約書 調印式概要】

日時： 2018年8月30日（木）10:00～11:00（ベトナム時間）

場所： 貿易大学（ベトナム社会主義共和国ハノイ市）

（補足情報）

■貿易大学と三谷産業の関係について

貿易大学は、1960年に外交、貿易職員の訓練大学として設立され、経済学、経営学、外国語学部を中心とした、人文社会系ではベトナム最上位の大学です。

同大学日本語学部においては、語学教育としての日本語教育のみならず、日本文化、日本式の経営学などを多様な面から研究し、また教育カリキュラムとして導入してきました。

さらに一橋大学、神戸大学などの日本国内の大学機関と研究面で連携しているのみならず、学内行事などを通じて日系企業向けに研究成果を発表する場を設けるなど多様な接点を有することも、同学部の大きな特徴です。

貿易大学と三谷産業はこれまで、それぞれが主催するカンファレンスにおいて相互に講演を提供したほか、当社における同大学の学生インターンシップの受入れ、出身者の採用など、多岐にわたる協力関係を築いてきました。また本年は、同大学の認定教育機関であるベトナム日本人材開発インスティテュート（VJCC インスティテュート）において、ベトナム人に向けた日本型品質管理に関する教育プログラムを提供しています。

■日越外交関係樹立 45 周年事業について

在ベトナム日本国大使館をはじめとする在ベトナムの日本関係機関が2017年8月1日付で発足させた日越外交関係樹立 45 周年事業実行委員会により、政治、経済、社会、食、教育、スポーツ、科学技術、文化芸術、学術、観光など幅広い分野において、日本とベトナムの間の交流と相互理解の促進、友好関係の強化に資すると認められた事業であり、公式ロゴマークの使用が可能になります。



■三谷産業グループのベトナム事業について

三谷産業のベトナム子会社の総称を Aureole（オレオ）グループと称しています。“Aureole”とは、フランス語で「栄光」を意味する言葉であり、ベトナム子会社の社名に冠しています。三谷産業が1994年にベトナム・ホーチミン市において事業を開始し、2018年8月現在ではベトナム国内において、現地子会社8社およびハノイ・ホーチミン駐在事務所合わせて計15拠点、現地社員数は約4,000人を有する規模になっています。事業内容は、化学品・健康食品原料の製造・販売、建築設備のCAD設計、情報システムのオフショア開発・システムインテグレーション、自動車部品向け樹脂成形品の製造、プリント基板およびユニットの製造・組み立てなどの事業を展開しております。

<本件に関するお問い合わせ先>

三谷産業株式会社 広報事務局（共同ピーアール） TEL：03-3571-5258